

部局名	健康福祉部	所属名	長寿支援課	所属長名	黒澤 清美	電 話	483-1151 内線2220
-----	-------	-----	-------	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	9090		事務事業名称	認定調査事業						短縮コード	経常	9090	臨時	9091		
予算区分	会計	35	介護保険事業特別会計		款	01	総務費		項	03	介護認定審査費		目	02	認定調査費	
区 分	☐ 自治事務 ☒ 法定受託事務 ☐ その他					根拠法令等		介護保険法、八千代市介護保険規則								
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）																
平成12年4月の介護保険法施行に基づき、要介護認定・要支援認定申請の受理から認定結果の通知まで、一連の業務を行う。																
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測						総合計画の施策体系	5本の柱（章）	01	健康福祉都市をめざして							
介護保険制度の浸透と高齢化が進む中、要介護認定者は増加傾向である。今後は、これまで同様に法改正等による認定調査、主治医意見書の見直しが予想される。							大項目（節）	03	社会保障							
							中 項 目	02	介護保険							
							小項目（施策）	02	保険財政の健全運営							
							細 項 目	01	財政運営の充実							
						実施計画の計画事業										
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		～			計画事業費		千円				

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	介護保険法に基づく要介護認定・要支援認定申請者。							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成21年度に実際に行ったこと： 1. 申請の受理 2. 主治医意見書の作成依頼 3. 認定調査の調整 4. 意見書・調査票の回収と点検 5. 認定結果の通知							
	※平成22年度に計画していること： 前年度と同じ。							
意図 （何を狙っているのか）	申請の受理から認定結果の通知まで、公正・的確かつ迅速に行う。							
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外							
区 分				単位	2 0 年度	2 1 年度		2 2 年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	申請件数	件	4, 859	5, 600	4, 771	5, 700	
	指標 2							
	指標 3							
活動指標	指標 1	認定調査件数	件	4, 650	5, 600	4, 589	5, 700	
	指標 2	主治医意見書件数	件	4, 685	5, 600	4, 588	5, 700	
	指標 3							
成果指標	指標 1	申請日から30日以内の結果通知	%	50	100	54	100	
	指標 2							
	指標 3							
上位成果指標	指標 1							
	指標 2							
	指標 3							

コード	9090	事務事業名称	認定調査事業				所属名	長寿支援課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			法・制度の改正により，見直しの可能性はあるが認定審査のために必要な事業であるので現状のまま継続していく。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止・休止								
☐ 事業完了								
☒ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			申請者の増加に比例して経費は増加する可能性がある。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☐	☒		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
適正適時の介護サービス利用を可能にする為、申請の受理から認定結果の通知まで、公正・的確かつ迅速に対応することが求められている。									

所属長コメント	法改正による見直しの可能性があるものの，介護保険法に基づき現状のまま継続していく事業です。								
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続			担当課の評価のとおり，現状のまま継続とする。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☒ 現状のまま継続									